

平成29年度学校目標

学校目標	具体的な手立て	評価の観点
教育課程・学習指導 ①一人ひとりの学力を伸ばし、希望進路の実現につながるカリキュラムの構築、履修指導を行う。 ②生徒の発展的学習の機会を充実させる。	①生徒の自発的な履修活動及び教員の履修指導に、ガイダンスブックが有効に活用されるような指導、研修を行う。日本語を母語としない生徒への学習支援をカリキュラムの面から支援する。 ②分野科目の解消に努めるとともに教科の発展科目を充実させる。授業改善の一環として、授業公開の機会を増やす、また、教材研究のノウハウを共有するための研修、アンケートを実施する。	①生徒の自発的な履修活動及び教員の履修指導に有効な指導や研修ができたか。日本語を母語としない生徒に対し、学習支援、進路実現につなげるカリキュラムを構築できたか。 ②新しい教科の発展科目を立ち上げることができたか。授業改善ができたか、教材研究のノウハウが共有できたか。
生徒指導・支援 ①学校全体で、外国人生徒の受け入れ体制の充実を進める。 ②部活動の活性化を図り、生徒の自主性を高める。	①外国人生徒支援担当者会議が中心となり、外部との連携を深めながら支援体制を構築する。また、学校全体で文書のルビ振り、プリントの工夫などを行う。 ②部活動オリエンテーションを通じて、部活動の勧誘を行う。部長会を通じて、大会やコンクールの目標づくりに取り組む。	①校内の取り組みに加えて、外部との連携を深めながら支援体制を構築することができたか。 ②新入生の入部率の向上を図ることができたか。部活動でより多くの実績を残すことができたか。
進路指導・支援 学習の充実を図るために指導体制、支援体制を確立する。	各年次において適切なガイダンスを行うなど、ガイダンス機能を充実させる。	生徒のニーズに合ったガイダンスを的確に用意することができたか。
地域等との協働 学校行事、部活動、委員会活動、インターンシップ等を通じて、地域と関わる機会を設ける。	①部活動、委員会活動を主体とした地域交流を充実させる。文化祭において地域の人々と積極的な交流を図る。 ②インターンシップ、高大・高専連携、公開講座・セミナー、社会人聴講生などの内容を充実し、生徒、地域の人々の参加の機会を増やす。	①部活動、委員会活動による地域交流の機会が増えたか。文化祭で地域の方が大勢入場したか。 ②生徒や地域の人々が参加、交流する機会を増やすことができたか。
学校管理・学校運営 H P ・学校説明会等の情報発信を充実させる。	①どの受検生にもわかりやすく、在校生の姿が伝わるような説明会を運営する。 ②H P の内容の更新を迅速に行う。	①本校への理解を深めることができたか。 ②H P の内容の更新を月に2回以上行うことができたか。
教育目標・教育方針・中長期的な方針など 自ら学び、自ら行い、自らを高める人間の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 磨かれた知性と創造力 ・ 強い自主性と責任感 ・ 豊かな感性と協調性 		